

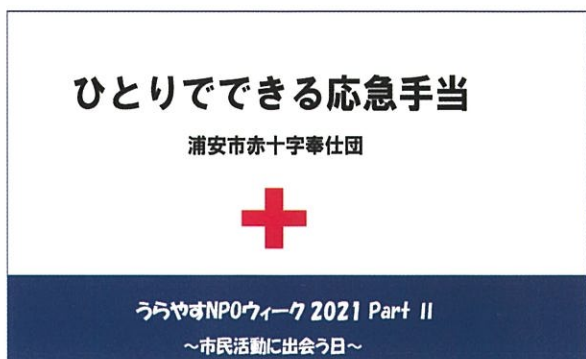


よしきり

浦安市赤十字奉仕団広報紙

赤十字七原則
 ◇人道
 ◇公平
 ◇中立
 ◇独立
 ◇単一
 ◇奉仕
 ◇世界性

うらやす NPO ウィーク 2021 part II が11月25日(木)~12月8日(水)まで市役所市民ホールで行われ、赤十字奉仕団も参加しました。奉仕団はコロナ禍の中、三角巾を使って「ひとりでできる応急手当」を動画で紹介しています。動画は右側のQRコードからご覧ください。



みんなのひろば



令和3年度も千葉県赤十字会館において左記の講習会が行われました。

7月7日

令和3年度赤十字奉仕団

リーダーフォローアップ研修会

東分団 石本美雪さん参加

新型コロナウイルス感染症予防対策に留意し、ハイゼックスの炊き出し中向かい合っでの作業は極力避ける等、災害時の炊き出しについて研修を受けました。

10月7・8日

レッドクロス・ボランティア

スクール

南分団 加納真利子さん参加
 赤十字の誕生から現在までの経緯をわかりやすく解説いただき、七つの「基本原則」、日本の赤十字、千葉県赤十字奉仕団の活動報告など、今後の活動にとっても参考になりました。

12月6・7日

令和3年度赤十字奉仕団

リーダー研修会

北分団 工藤明美さん参加
 私たちのグループは、習志野市、九十九里町、大網白里市、浦安市でした。今回参加して、自分が出ること、相手が望んでいること等を考えて活動していきたいと思っています。又、今回のような研修会等があったら参加したいです。

病院の中では...

北分団 田島 員子

いよいよオミクロン株が広がって、今年1月25日より入院する方はLAMP検査を全員受けてからの入院となりました。今まで二・三日前からの検査で要請が出て入院できないという方はほとんどいなかったのですが、このオミクロン株は違ってきているのです。それは軽症だったり、無症状だということも起きているかも知れません。

コロナ対策会議も毎日のように行われていて、院内の日々の様子も変わってきています。外来は紹介状がないと診察してもらえなかったり、入院は癌患者が多いのですが、二週間おきの化学療法とか計画的な治療なので、コロナだから延期というわけにはいかないのが現状です。骨折なども多く、雪が降った1月6日以降整形外科のオペは込み合いました。また、出産の予約の方も大変です。LAMP検査をしての入院はもちろんですが、通常と異なるのが立会い出産が出来ないことです。一般の入院の方も面会はほとんどできな

い現状で、赤ちゃん誕生の瞬間に会えないのです。めでたく退院の日を迎え、迎えに来た新米パパがとても大事そうに抱っこして退院会計に現れます。私は、このほうが良かったりして・・・とも思ったりします。ママも赤ちゃんも大切にされるのだろうと。
 コロナは色々なところで、様々なことに波及して、人々の生活や人生までも変えられてしまっているように思います。もう、このあたりで収束に向かつてほしいし、一日も早くマスクを外して、以前のように人と人のコミュニケーションが容易にできるように戻りたいと願うばかりの毎日です。

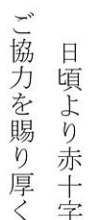
*LAMP検査とは
 PCR検査と同じく、唾液から新型コロナウイルスの遺伝子が含まれているかどうかを調べることで、現在の感染状況がわかる検査です。



コロナ禍での活動

浦安市赤十字奉仕団

委員長 大塚 三枝子



日頃より赤十字奉仕団の活動に深くご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ禍での活動が制限された中で十一月二十一日浦安市主催の防災訓練が開催。奉仕団も参加しました。例年、テント内で三角巾を使った手当を奉仕団員と一緒に一般の方に体験していただきましたが、今回は一人で出来る手当として膝、捻挫(足首)の手当てを行い、マスク着用、少し離れて相対して体験していただきました。登山時に捻挫の経験のある方がこれを体験して早くに知っておけばよかったと話されました。ちよつと嬉しく思いました。

これまで公立の中学校二年生に行われてきた救急法短期講習会も5校が参加してくださいました。先生方も生徒たちも指導員も感染予防対策をしっかり守り、命の尊さを学び、もしもの時の第一歩を踏み出してくれと思います。
 日本赤十字社千葉県支部主催の研修会は、通常一泊二日の研修も連日通うことで密になることを避けて行われ、当奉仕団も三名がそれぞれの研修会に参加しました。
 コロナ禍でもどうすれば出来るかを探りながら活動していきたいと考えます。

令和3年度社資募集にご協力いただきまして、ありがとうございました。市民の皆様からいただきましたご支援は2,768,427円でした。ここに報告とお礼を申し上げます。

赤十字活動資金の流れ

皆様からの社資(寄付金)



日本赤十字社



日本赤十字社の人道的活動

令和4年度は5月中旬より社資募集を予定しております。特に市民の皆様のご寄付は赤十字を支える基盤ですので経済状況の厳しい中ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

浦安市赤十字奉仕団 団員募集中

発行所

浦安市猫実1-1-1
 浦安市役所社会福祉課内
 浦安赤十字奉仕団事務局
 直通電話

047-712-6388

編集後記



コロナ感染も科学が進歩した現在直ぐにおさまるだろうと楽観していましたが三年目に入りました。
 今回再開された中学生の救急法短期講習会のお手伝いをしました。彼らが静かに講習を受ける様子を見て、入学以来マスクの生活で、中止になった行事も多く、このまま卒業なんて悲しすぎる。最後の一年はマスクのない楽しい中学生生活を送ってほしいと心から願いました。

令和3年度活動記録

- 4月20日 奉仕団第一回協議会
- 5月23日 第20回定期総会(中止)
- 6月22日 赤十字奉仕団指導技術研修会
- 7月7日 赤十字奉仕団リーダー・フォローアップ研修会
- 10月7・8日 レッドクロスボランティアスクール
- 11月5日 奉仕団第2回協議会
- 11月25日～12月8日
うらやす NPO ウィーク Part II



- 11月中旬～11月末迄 社資募集
- 11月21日 浦安市総合防災訓練



- 12月6・7日 赤十字奉仕団リーダー研修会
- 12月7日 奉仕団員救急法短期講習会
- 12月16日～2022年1月20日
市立中学校2年生対象救急法短期講習会
- 12月16日 入船中学校
- 1月12日 美浜中学校
- 1月13日 明海中学校
- 1月14日 日の出中学校
- 1月19・20日 浦安中学校



浦安市奉仕団との協働講習実施について
安全奉仕団 指導員 加藤幸子

コロナ影響下において、浦安市立中学校でのFA短期講習会を再開しました。内容や方法も、留意点のほか、講習時間100分から50分へ短縮、一回講習から3～4回講習へと大きく変わりました。担当できる指導員も少なく、これまでのように複数では実施できません。指導内容、方法ともに精選の必要性を実感したシーズンでした。

そんな状況において、地域奉仕団との協働は講習を充実させ円滑に進めることに繋がっていると強く感じました。

地域奉仕団は例年、事前にFA講習を受け当日に臨んでくれます。受講者をいくつかのグループに分け、担当者を決め、その生徒たちを見てもらいます。着目点についてはあらかじめ打ち合わせし、気になる点を指導員に知らせてもらいます。声かけはあまりできませんが、「励まし」「ほめる」を主に、場合によっては「こう言っていたね」と伝える程度に接してくれます。

終了時の消毒では、指導員が拭き方説明を始めると同時に、アルコール綿の配布を開始するなど、あうんの呼吸で開始前の会場資材設置準備から最後まで一緒に活動しています。心強い存在です。

このように目が行き届きやすいことは、受講生にとっても何よりの利点と感じます。また、同じ

赤十字でも安全奉仕団と地域奉仕団というボランティアがあるのだと具体的に知ってもらえたことと思えます。

長年行っている協働ですが、あらためてその良さを見直す機会がありましたので報告させていただきます。

市立中学校2年生対象救急法短期講習会

2021年1月 コロナ感染拡大により緊急事態宣言が出され、赤十字や奉仕団の活動も全て中止となりましたが暮れには落ち着き、5校が参加して12月16日入船中学校から始まりました。2022年に入るとコロナウイルスの変種株の感染が広がり始めましたが、無事終えることが出来ました。

講習会開催について日本赤十字社千葉県支部からの注意事項があり、3密(密閉・密集・密接)は勿論のこと当日参加の生徒・指導員・奉仕団員の健康チェック票を提出し、すべてクリアした人が参加しました。広い体育館で50分授業を1クラス毎に行い、今までのように3人一組ではなく、一人一人の人形で距離を取り心肺蘇生とAEDの使い方を学びました。一人一人では休む暇もなく、30回の胸骨圧迫と2回の人工呼吸(人工呼吸は行わずに真似だけでしたが)を繰り返し、AEDの操作もしっかり学びました。授業の終わりには人形とAEDを丁寧にアルコール消毒して次のクラスへ渡しました。

指導員の「倒れている人に会ったら進んで助ける人になってください」の言葉を忘れないで下さい。

2021. 12. 16 入船中学校



2022. 1. 12 美浜中学校



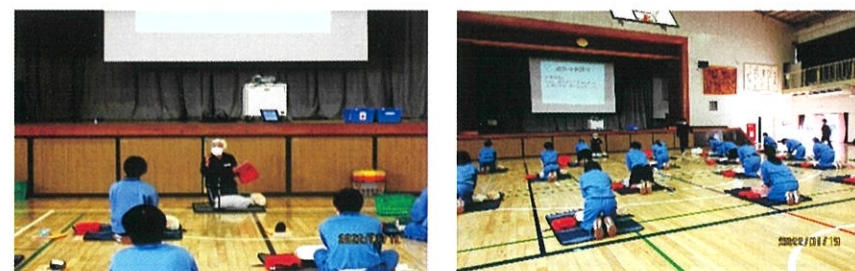
2022. 1. 13 明海中学校



2022. 1. 14 日の出中学校



2022. 1. 19・20 浦安中学校



12月7日奉仕団員の救急法講習会が行われました。

コロナ禍で行う救急法の注意点

- ① 顔を近づけすぎない
- ② 人工呼吸ができる場合でも成人では行わない
- ③ 胸骨圧迫を行う際、エアロゾルの飛散を防ぐためハンカチやタオルで傷病者の鼻と口にかぶせる
- ④ 救急車に引き継いだ後は速やかに石鹸と流水で手と顔を洗う
- ⑤ 傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオルは直接触れないようにして廃棄する。

